

2011 年度ウエストナイルウイルス感染症予防対策に係る 媒介蚊のウイルス保有調査結果について

滋賀県では、ウエストナイルウイルス(West Nile Virus ; WNV)感染症を監視する目的で、これを媒介する可能性のある蚊の発生状況およびウイルス保有状況を調査しています。

2011 年は、5 月～10 月の期間県内の 3 地点で蚊の捕集調査を実施しました。その結果、コガタアカイエカが 810 匹と最も多く捕集され、以下、ヒトスジシマカ 243 匹、アカイエカ類 15 匹、オオクロヤブカおよびシナハマダラカが各 3 匹、ヤマトヤブカおよびトラフカクイカが各 1 匹および不明な種類の蚊が 2 匹捕集されました(表)。

捕集された蚊について WNV の遺伝子保有検査を行いました。すべて不検出でした。

国内では、WNV の侵入は 2005 年に米国から帰国した旅行者から検出された 1 例を除いて確認されていません。しかし、イエカ類(アカイエカやコガタアカイエカ等)やヤブカ類(ヒトスジシマカ等)など WNV を媒介する可能性のある蚊は国内に多数生息しているため、ひとたびウイルスが国内に侵入すればたちまち広がる危険性があります。WNV 感染症を予防、または感染拡大を防ぐ方法としてもっとも重要なのは媒介動物である蚊の対策であるため、今後も蚊の発生時期や、発生数、種類等を調査・把握していく必要があります。また、蚊は WNV の他にも日本脳炎ウイルスやチクングニアウイルスなど様々な病原体を媒介するため、刺されないように注意することや、蚊を発生させない環境を整えることが大切です。

表 蚊の捕集調査およびウエストナイルウイルス検査結果

地 点	捕獲数(匹)	内 訳		ウイルス検査結果
		数(匹)	種 類	
衛生科学センター ^{*1}	263	43	コガタアカイエカ	陰性
		9	アカイエカ類	陰性
		207	ヒトスジシマカ	陰性
		2	オオクロヤブカ	陰性
		2	不明	陰性
大津 ^{*2}	724	705	コガタアカイエカ	陰性
		5	アカイエカ類	陰性
		10	ヒトスジシマカ	陰性
		1	オオクロヤブカ	陰性
		2	シナハマダラカ	陰性
		1	ヤマトヤブカ	陰性
東近江 ^{*3}	91	62	コガタアカイエカ	陰性
		1	アカイエカ類	陰性
		26	ヒトスジシマカ	陰性
		1	トラフカクイカ	陰性
		1	シナハマダラカ	陰性
合計		1078		

*1 原則毎週1回実施

*2 原則月2回実施

*3 原則月1回実施